

## 1. 調査方法

中央本線塩嶺トンネルの通過するトンネルの線上を含め、周囲約10kmの範囲内に永久方形区34ヶ所を設定した。永久方形区は、塩嶺高原一帯の水環境の動態を把握できるように、できるだけ主要な駅にそれぞれちらばるように設けられた。永久方形区の大きさは、調査の対象となる植生によって異なり、2 m×2 mから20 m×20 mまでの様々な大きさに変えられている。

調査は、各方形区内に生育する全植物について、群落階層別に植物の全リストを作成し、それぞれの植物について被度（Deckungsgrade）と群度（Soziabilitätsgrade）の量的測定値を与えた。

## 2. 調査時期

各永久方形区内の植物社会学的な調査は、春季（5月）と秋季（10月）の年2回、毎年継続しておこなわれた。現在、調査回数は8回までおこなわれている。

表1 調査年月日一覧表

調査数次	調査年月日
1	1978年5月21日 ~ 5月22日
2	1978年10月2日 ~ 10月4日
3	1979年5月20日 ~ 5月26日
4	1979年10月3日 ~ 10月6日
5	1980年5月22日 ~ 5月24日
6	1980年10月3日 ~ 10月5日
7	1981年5月21日 ~ 5月23日
8	1981年9月27日 ~ 9月29日